



障がいのある人の雇用に取り組む

株式会社フェイム

(京都市南区)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】 農産物加工・卸小売業

【障がいのある人の主な仕事】 農産物のネットや袋詰め作業、その前後の準備作業など

【障がい者雇用の経緯】

20年位前に特別支援学校からの声かけで、実習を受け入れ雇用したのが最初です。その後、運転免許などを取り転職した人もいます。スキルアップも一つの目標であって良いと考えています。現在、重度の知的障がいのある人が3名働いています。納品先にも障がい者が働いていることを理解していただくようにしています。特別支援学校の体験実習は2年に一度2カ所で受け入れています。

【Oさんに聞きました】

6年になります。特別支援学校に農園芸という科目があったので、農産物について理解し易かった。最初の頃は、作業台の高さが様々で腰が痛かった。今は筋力が付き大丈夫です。日曜と木曜か休みですが、日曜は体を休ませ、木曜はロードバイクで70~80キロのサイクリングをしています。

【Uさんに聞きました】

13年になります。慣れるために頑張りました。失敗した時は、すぐに上司に報告し謝ります。人との関係が楽しく、休憩時間は他の人とよく話をします。以前は休みによく遊んでいましたが、今は週1回ジムに通い、体力づくりに励んでいます。

【周囲の見守りの中で、ゆっくり時間をかけて】

社員の中に、ちょうど障がいのある人の親の年代の方が多く自然と見守っているような環境が出来ています。その中でゆっくりと時間をかけて仕事の幅を広げてもらいます。

多種多様な農産物についての扱い方やそれぞれの作業に応じた前後の準備作業も重要です。

時間をかける中で、一定のスキルに達したら、別の仕事にチャレンジしてもらいます。本人の特性に合い力が発揮できる仕事を見だし任せるようにしています。

特別支援学校からの体験実習も2年生から受入、時間をかけて相互理解に努めるようにしています。

彼らは、真面目で確実に成長していきます。今後、事業拡大に伴い採用を増やしたいと考えています。



令和3年3月取材